

## 新設された道路の歩道について

### 【ご意見要旨】

陽光台より、谷和原公民館までの道路工事が一年半かかり完成し、自転車で谷和原郵便局に行きました。すると、歩道と道路が交差するところに段差が多くあることに気が付きました。東京の古い道路にはほとんど段差があり、車いす、ベビーカー、杖を突いている方、自転車の為に改修工事ではスロープがつくようにしています。

みどりの地区の新しい歩道はこの配慮がされています。現在工事中の小張の所からでも弱者にやさしい歩道にしていただけたらと思います。

### 【回答要旨】

現在、工事中の主要地方道野田牛久線小張バイパスにつきましては、みらい平地区と主要地方道取手つくば線を結ぶバイパスとして、茨城県により整備が進められているところでございます。

歩道と車道との交差部の段差は、視覚障がい者の方々が通行するときに、歩道と車道を認識するために必要な機能です。その一方で、段差があることで車椅子やベビーカー等の利用者等が通行しにくくならないよう、茨城県の道路設計マニュアルに基づき、あらゆる歩行者の安全に配慮した構造となっております。今回の道路工事についても段差が出来る構造で、工事が進められています。

市としましては、県道の歩道の段差について、同様の問い合わせを受けており、歩行者だけではなく、自転車の交通にも配慮した道路づくりを茨城県に対し要望してまいります。

(令和2年 6月回答)